

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：東戸塚赤ちゃん保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：山中 あや子	定員（利用人数）： 19名(19名)
所在地：〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町538-7 オセアン第2ビル2階	
TEL：045-826-4832	ホームページ： <a href="http://www.momo.ed.jp/">http://www.momo.ed.jp/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人ももの会	
職員数	常勤職員： 1名 非常勤職員 8名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長 1名 栄養士 1名
	保育士 7名
施設・設備の概要	（居室数） 3室 （設備等）
	保育室・給食室・事務室など

③理念・基本方針

- (1) 子どもの育とうとする力を信じ、環境を通じて保育を行います。
- (2) 「あそぶ」ことを保育の中心に置きます。
- (3) 意志をもった一人の人格として子どもを尊重します。

④施設・事業所の特徴的な取組

園は東戸塚駅より徒歩3分のビルの2階にある小規模園です。少人数で家庭的な雰囲気の中、異年齢の友だちとの関わりを大切にし、子ども・保護者・職員とが顔の見える関係を作っています。天気の良い日には戸外に出かけて、歩く距離を延ばしたり、公園の広いグラウンドでたくさん身体を動かし、自然に触れる機会を多くしています。保護者とのコミュニケーションを大切にして安心・安全な保育を行うことを心掛けています。

食育・給食について：給食室が保育室の隣にあり、調理しているところや、子どもたちが食べている姿を間近で見ることができます。調理の音や香りを感じられる家庭のような環境の中で、気軽に声をかけ合いコミュニケーションをとっています。食への興味が広がり、食べたいもの、好きなものが増えるようにと、0歳児から季節の野菜を見たり触れたりします。子どもたちとプランターで野菜を栽培することで、育てて収穫する楽しみや喜びを体験し、食に関する全てに感謝の気持ちを持つことを伝えています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 4月 1日（契約日） ～ 2024年 1月 16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

**◆子どもたちは保育士の丁寧な見守りの中で基本的な生活習慣を身につけ、のびのびと健やかに過ごしています**

子どもたちは、小人数の友だちといつもの保育士とワンフロアの中で、3つのクラスが互いの気配を感じながらアットホームな環境の中で過ごしています。園は丁寧な見守りの中で、基本的な生活習慣が身につくように動線を考えて環境を整えています。子どもたちが自分で挑戦したい時には時間がかかっても保育士の見守りの中でやりとげ、できない時には手伝ってもらい、友だち同士お互いを手本にし合い、ゆったりした時間の中で食事や着替えなど基本的な習慣を身につけていきます。散歩では2歳児と1歳児が手をつなぎ、お互いに気遣いながら楽しそうに歩く姿があり、散歩先では一緒に遊び、帰ってくると片付けが出来ていない友だちの靴をしまうなどの姿がありました。子どもたちは職員に受容され、大人に信頼を寄せ、友だちが大好きで、毎日ありのままの姿で安心して、のびのびと過ごしています。

**◆職員は気持ちをひとつにして毎日の保育をしています。**

栄養士を含め職員は園での経験が長く、家庭的な保育の良さを感じて園長の元で日々の保育を行っています。全員が子どもの発達状況や家庭環境を含め、園全体の子ども様子を把握しており、日々、午睡中の打ち合わせでも確認しています。職員間では必要があればすぐに応援に入るなど普段から連携が取れ、全員で園児全体を見守っています。給食室からは野菜を刻む音が聞こえ、美味しい匂いがしてきます。散歩から帰ってきた子どもたちは「ただいま～」と栄養士に声を掛け、今日の給食は何かなど期待を持って手洗いなど食事の準備をします。栄養士は帰ってきたことを確認して配膳の準備を始め、日々喫食状況を確認し、発達や体調などにも配慮したきめ細かな対応をしています。ペランダのプランターで野菜を育て、毎日水やりをして収穫して食べたり、葉つきの野菜を触ったり、とうもろこしの皮を剥くなど園は食育にも力を入れ、感謝して食べる事を大事にしています。職員それぞれが「常に子どもを中心に置き、保護者に寄りそえる園」を意識して、子どもたちや保護者に丁寧に寄り添い、日々の保育を行っています。

**◆園のこれからを考え、更なる人材の確保、育成、人員配置の見直しが期待されます**

職員は園での経験が長く安定した保育が行われています。日々の保育は職員が責務を負って行っていますが、ほとんどが非正規職員であり、園内の責任の明確化が不十分で、運営や処遇改善などに参画する機会がない状況です。安定した保育体制を維持するために、新たな人材の確保、育成、人員配置の見直しが課題です。実習生や地域のボランティアを積極的に受け入れることで、園の良さを地域に知ってもらうこともできますし、災害時に支援し合う関係性が築かれると考えます。園として保育士の募集をホームページや園の窓に掲示するなど工夫すると共に、法人も積極的に保育士の獲得に取り組むことが期待されます。

**◆快適で、よりプライバシーに配慮された環境の整備が期待されます**

園は限られたスペースですが、配置、物品の見直しを行い、プライバシーや衛生面も考慮して、職員の更衣室やロッカー、休憩を取れる場所を確保することが期待されます。また、プライバシーに配慮した面談スペースの確保や個人情報にあたる記録類の保管場所などの整備が期待されます。法人も含めてスペースを確保する工夫に取り組み、子どもにも保護者にも、職員にとっても快適な環境が作られることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2015年、横浜保育室から小規模保育事業に移行し初めて第三者評価を受審しました

た。横浜保育室の頃から1つ1つ積み重ね、大切にしてきた『保育』ありのままを見て頂こうと考え取り組みました。

「子どもたちにとっての最善の利益」の保障や「日常の保育 を各々振り返る機会」として、有意義な時間を園全体で取ることが出来ました。

総合評価では小規模保育園ならではの、保育士と子どもとの距離感や保護者の方々との関係性などを細かくしっかりと評価して頂き、今後の励みになります。

子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを感じ取り、子ども主体の保育が展開されるように全職員で取り組んでいきたいと思ひます。今後も時代の変化に伴い保護者・子どものニーズが変化していく情勢を汲みながら今後の保育園運営を考えていきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり